



牛久保小だより



～共に生きる たくましく生きる かがやいて生きる 牛久保の子～

横浜市立牛久保小学校 912-5700・5775 <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/ushikubo/>

実現しよう！牛久保カラー

私が牛久保小学校に赴任して、4年目となりました。改めて、牛久保小学校の子どもたちは本当にすごいとしみじみ感じ入りました。今年度のスローガンも、例年通り、昨年度の子どもたちの代表委員会で話し合われ、「実現しよう！牛久保カラー！！」に決定いたしました。もう一つの案は「輝け！！個性あふれる牛久保小！！」で、提案理由は、「一人一人の個性が輝き、あふれたら一人一人を大切にできると思ったから。」だったそうです。この案も大変すてきなものでした。（「牛久保カラー」の7つの意味は、この学校だよりのどこかに載っています。）

2年前の20周年のスローガンは、「広げよう！牛久保カラー」でした。昨年度は「つなげよう！牛久保カラー」のもと、「牛久保カラー」を全校につなげたい、知ってもらいたいという思いから、高学年の子どもたちが中心となって、工夫してつなげたり、知らせたりしていました。そのつながった（知ってもらった）「牛久保カラー」を、令和6年度は「実現できるようにしたい」という願いを込めたものだそうです。どちらの案も大変すばらしいのは、提案理由が納得できるものであることです。実際には「輝け！！個性あふれる牛久保小！！」とはなりませんでしたが、話し合った子どもたちの心に、様々な思いや考えが深く残ったのではないかと思います。私たちも子どもたちも、決めなければならないことはこれからもたくさん出てきますが、考え、考え、考え抜いて、答えを出していかなければならなかったり、どうしても一つを選ばなければならなかったりします。そんなとき、本校の子どもたちには、「実現しよう！牛久保カラー」を決定するまでに、様々な考え、思いが詰まっていたことを、想像し、理解しようとする人になってほしいと思っています。

さて、少し話は変わりますが、「現実」と「実現」は、同じ漢字をひっくり返しただけですが、意味がずいぶん違います。（福武国語辞典 福武書店より）

○現実…実際に目の前にある事柄や状態。事実。

○実現…（希望・理想・理念などが）実際のものとなって現れること。

このように、目の前にある事実は「現実」で、夢や理想などを「現実」にすることが「実現」です。したがって、「実現しよう！」ということとは、夢や目標を現実にするために「努力しよう」、「がんばろう」ということになります。

子どもたちが考え、導き出してくれた「実現しよう！牛久保カラー」には、このスローガンに向け、がんばっていききたい気持ちが詰まっていることが分かり、嬉しくなりました。今後も本校の子どもたち、教職員ともども、地域、保護者の皆様の温かいご支援、ご協力を賜りたく、どうぞよろしくお願ひします。